

中小企業を支援するための広報誌

# SUNTECS

[広報サンテックス]

Industrial creation  
and job growth

No.351

夏 2016  
季号

SUMMER



経営理念に基づき  
社員全員が一つになって  
チャレンジ

株式会社 公精プラント

代表取締役

坂本 公生 氏

九州教具株式会社  
代表取締役社長 船橋 修一氏

時代とともに変化した  
たどり着いた CSV 経営

企業が収益性を確保しながら社会価値を生み出し、  
事業活動を通じ社会的価値や企業価値を高めてゆく経営戦略

財団からのお知らせ

- IT 環境活用化をサポートします
- 成長志向型企業支援を新たにスタート  
「スタートアップラウンジ」 & 「新事業展開集中支援事業」



公益財団法人長崎県産業振興財団

中小企業支援  
ポータルサイト

よかネット長崎

よかネット長崎 または 長崎県産業振興財団



# Management Interview 経営者インタビュー

## 経営理念に基づき 社員全員が一つになってチャレンジ



株式会社公精プラント  
代表取締役 坂本 公生氏

### 仕事をはじめたきっかけは

日立製作所清水工場で働いていた時に、日立の加工技術の競技大会に出るための社内の選考を兼ねた予選会に出ることになりました。入社1年目でしたが、気楽に望めたせいか成績が良く、静岡県大会に出ることになりました。これは最終的に、世界大会まで出られる競技会だったので、県大会に出ると、全国大会までは休みの日もなく鍛えられる厳しい毎日でした。

ちょうどその頃、兄からも地元に戻るようと言われていました。競技会で成績が良かったことが自分の自信にもなっていたので、故郷で仕事をしようと考え、36年前になります。会社を辞めて自分で金属加工の切削から始めました。家の一部を改造して工場を作り会社を起しました。

### 最初からうまくいきましたか

創業時は私も経験が浅かったので、普通だったら簡単にできる仕事でも上手くいきませんでした。例えば、旋盤加工では材料を掴んで加工するのが殆どですがそれが上手くいきません。それで発想を変えて、簡単に加工できるような治具を作りました。いかに簡単に加工するかを考え、治具を工夫する。これが今の原点になっています。仕事を楽にするために、あるいは正確にするためには、発想力や考案力が必要です。アイデアの勝負だと思います。それと当時は若いので無理がききました。教わる人もいなかったの、自分で昼夜問わず、10年分を3年で勉強しました。そして、寝る間も惜しんで仕事に没頭しました。この時期の経験が今の財産になっていますね。

### ターニングポイントはありましたか

造船不況や取引先が中国に展開していったという中で、長崎県内の取引先ばかりに頼ってはいけなないと思ひ、県外の取引先に目を向けだしたのがターニングポイント

となりました。産業振興財団から紹介された半導体装置メーカーとの取引が始まり、そこから更に取引先が増え、今では多くの県外の企業様にも名前を覚えていただけるようになりました。

「他社が避けたがる複雑な加工を積極的に取り入れよう」というのが私の考えで、これが功を奏したと思います。「加工に必要な工具がないのでできない」と断るのではなく、当社では工具がないものは、工具メーカーに特殊工具を特注して製作します。こうして他社との差別化を図ってきました。

### 最近の精密金属加工界の懸案事項や 課題にはどのようなものがありますか

付加価値がある難しい製品は時間を要しますが、今はコスト競争が厳しいです。開発品はそれなりの予算をいただけますが、それでもメーカーはコスト意識が強く、非常に厳しいです。いいものを作って提供したいのですが、コスト重視という時代の流れですから、予算内で規格どおりに作るしかありません。

我々もビジネスなので、採算に合わないことはできません。その中でも、予算内でお客様にいかに満足をお届けかということが我々の使命です。



半導体製造装置部品



## AIやIoTなどのIT関連の技術が進歩しています。精密金属加工業でそれらをどのように活用するか、お考えがありますか

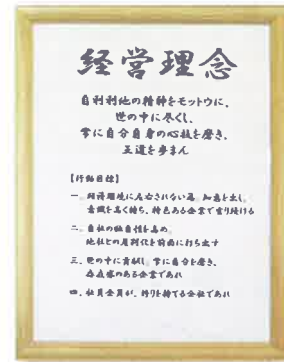
既にIoT搭載の工作機械を導入し、次の時代を予測しながら、プログラムの効率化や若者を育てるための作業の標準化などに取り組んでいるところです。これは専務が中心になって取り組んでおり、こういうのは若者の世代に任せようと思っています。彼らが中心になって、IoTなどの最新の技術をどんどん活用しながら時代の一步先を予測して動いていかないとはいけません。

## 今後はどのような会社にしていきたいですか 会社として具体的な目標はありますか

「自利利他の精神をモットーに、世の中に尽くし、常に自分自身の心技を磨き、王道を歩まん」これが経営理念です。これが表す行動目標として、まず、「経済環境に左右されないために知恵を出し、意識を高く持ち、特色ある企業で有り続ける」ことなのです。

2番目に「自社の独自性を高め、他社との差別化を前面に打ち出す」、3番目に「世の中に貢献し、常に自分を磨き、存在感のある企業であれ」、最後に「社員全員が誇りを持つ会社であれ」という、当社の壮大な目標があります。この目標に向かって社員みんな賛同して行動してほしい。そうすることによって自分たちの暮らしも豊かになるということを社員には言っています。

このような思いで行動するという事は、自分のためだけでなく他人に尽くしなさい、世の中に尽くすということ、まわりまわって自分に返ってくるということです。そういう気持ちでこの経営理念を前面に打ち出しています。その行動の表れの一つとして、毎月、各自が改善項目を提案して、作業時間の短縮などに取り組んでいます。このような活動を繰り返しながら効率をあげ、世の中のスピードやコスト競争に対応していこうと、社員が自分達で考え行動してくれるようになってきました。



## どんなリーダーを望んでいますか

私が言わなくても自分で考えて、言わんとすることを行動する人ですね。それと時代の先を読む力。そのためにはいろいろな情報を仕入れて、次はこういう時代が来るだろうな、こういうことが起きるだろうなという予測する力を持ってもらいたい。そのためには、いろいろな方と知り合い、いろいろな情報を仕入れることが大切だと言っています。最悪の事を予測しながら動いていれば、実際にそういうことが起きても慌てることなく対処できる。それに柔軟に対応していくのが経営者です。そんなリーダーを望んでいます。

## 経営においてやってはいけないと思うことがありますか

それはマンネリ、現状維持です。そうなったら会社は衰退します。とにかく新しいことにチャレンジしないとダメです。仕事ひとつにおいても日進月歩していて、工具でも何でも先に先に進んでいますからマンネリは駄目ですね。今まで通りのやり方で今まで通りにしていたほうが一番安全ですが、現状維持も駄目です。仕事においても新しいことにチャレンジして失敗することはいつでもOKです。新しいことにチャレンジしなさい、現状維持は駄目ですということは常に伝えています。そうすることが経営の安定化に繋がります。守りはリスクです。守ってばかりでは、逆にリスクに繋がります。

## 必要性を感じてやりたいと思っていることがありますか

今はコンサルに依頼して工場スタッフの意識改革を行っています。月に1回、約4時間で全員が参加します。1回20万円程かかりますが、スタッフ全員が今以上に効率化して利益を出すために必要な費用です。生きるか死ぬかは自分次第という思いでスタッフは一生懸命勉強しています。費用対効果で考えると効果のほうが断然大きいので、今後も続けたいと思っています。

## これを読んでいる次代の経営者に向けて、一言お願いします

やはり、先ほども言ったように情報をたくさん仕入れて、将来起こることを予想できる力を持つことが経営者としては必要です。人より一歩先に手を打って動くことです。一歩踏み出せないなら先はない。一歩踏み出す勇気が必要なのです。若い人達が、しっかり自分達のやるべき事を自分達でやるという流れができてくれば本望ですね。そして、常々言っていることがあります。島原半島で働くのであれば公精プラントで働きたいと言われるような会社になりたいというのが最終目標です。当社は半導体装置部品が主力です。半導体装置部品を作ることで世の中に貢献し、それを誇りにもってほしいのです。この目標を達成できるのは、一人一人の力があってこそです。若い社員達がそういう目標に向かって社員一人ずつ底上げしていってもらい、社員からも世の中からもいい会社だと思ってほしいという思いが一番です。



専務さんにも  
お話をお伺いしました。

## 今後、ご自分が会社を経営していくなかで、方針、懸念事項、不安要素などがありますか

方針については経営理念があるので、今まで社長がしてきたことを続けていきたいと思っています。懸念事項ですが、社長の時代は、社長の考えに「ついてこい」という感じで良かったというところもあるかもしれないが、自分の時代はそうもいきません。きちんと会社の中の仕組みや枠組みを作って、社員の要望などにも耳を傾けながら、自己中心的、傲慢にならないように進めていければと考えています。



社内工具棚



半導体装置部品



IoT対応の最新型複合旋盤

## 社員との接し方で気を付けていることがありますか

コミュニケーションを第1に考えています。まずは社員の意見を聞きます。社員がどのような考えで意見しているかを十分に理解した上で、間違っている場合には、納得できる理由を説明して説得するようにしています。新しいことへのチャレンジなど、厳しい要求をしますので、メンタル面のサポートも重要です。またプライベートでも積極的に歩みよることを日頃から心がけています。

## 社長の方針やこれまでの実績について、どのように思いますか

一人で会社を始めて、今の流れを作ったそのエネルギーと情熱、信念は凄いなと思います。それを引き継ぎながら、私なりの特徴を出していかなければならないと思っています。

企業概要



### 株式会社 公精プラント <http://www.koseiplant.com/>

- 所在地/本社事務所・工場：〒859-1415 長崎県島原市有明町大三東戊 2757
- TEL / 0957-68-2435 ● FAX / 0957-68-3506
- E-Mail / info@koseiplant.com
- 資本金 / 400万円
- 従業員 / 20名 (2016年4月20日現在)
- 工場規模/敷地面積：1,700㎡、建屋面積：1,000㎡
- 業務内容/精密部品加工、ラビリンス、弁バルブ、射出成形機部品、半導体及び液晶パネル関連装置部品の製造、アルミ・ステン・チタン材を中心とした高精密加工